

寺子屋はちまん さつまいも収穫体験

晴天に恵まれた11月12日、八幡コミセンの畑でさつまいもの収穫を15組の小学生児童が体験しました。

たくさん出来ているか、スタッフもどきどきしながら参加者とスコップを入れましたが、思いのほかたくさんのさつまいもを掘ることができました。「5本もつながってる!」「見て!こんなに大きいよ!」と子どもたちが目を輝かせて歓声をあげる姿に、大人たちも疲れを忘れて笑顔になりました。

毎年人気の事業で、すぐ申込締め切りになってしまうため、もっと広い畑があればたくさん参加していただけるのと思っています。次回は、広い場所を見つけて多くの方に掘っていただきたいと思います。



盛り上がりました! カロム教室



日本カロム協会大須賀さんの指導のもと、小学生児童対象のカロム教室が10月29日にありました。シンプルなゲームながらとても盛り上がり、楽しい時間を過ごしてもらうことができました。



バックと呼ばれる木製の駒の積み上げ競争。簡単なようで難しく、子どもたちは何度も挑戦していました。

12月 行事のお知らせ

10 日 ふれあいチャレンジ広場 スポレック

9:30~11:30 **ニュースポーツを楽しもう!**

場 所:市民アリーナ(旧八幡中学校体育館)

*参加申込不要、無料です

スポレックって?

シャフトの短いプラスチックのラケットでテニスボールと同じ大きさのスポンジボールを打ち合うゲームです。せまい場所でテニスの醍醐味を味わえ、**子どもから高齢者まで手軽に楽しめるスポーツです。**
ご参加お待ちしております!

楽しいよ!
来てね!



10 日 「花はどこへ行った?」ウクライナから来た私たちが伝えたいこと~

14:00~15:30 **人権部会 平和学習会 八幡コミュニティセンター にて**

講師:シトワ アナスタシアさん
クヴィアト オレサンドラさん
(戦火を逃れて来日された
龍谷大学のウクライナ人留学生)
演奏:地元のバンド
「ハーモニックス」さん

世界一有名な反戦歌と言われる名曲「花はどこへ行った?」この曲はもともとウクライナの古謡だったと言われています。そして今、この名曲のふるさとウクライナは厳しい戦火の中にあります。

戦火の祖国ウクライナを逃れて今は日本の大学で学ぶお二人の女子学生さんに、突然戦争に巻き込まれた体験や、明日への希望について語っていただきます。**12月10日「世界人権デー」の昼下がり、若い二人の思いを、願いを、是非多くの方に聴いていただきたいと思います。**

※新型コロナウイルス感染状況により中止・変更することがあります *事前にご確認の上ご来館下さい*

人権フェスタ~文化のつどいと同時開催~

富田人形公演

百数十年の歴史をもつ人形浄瑠璃



巧みな人形の動きは、まるで生きている人間のようで、観客を魅了しました。

文化のつどいと同時開催となった11月5日の人権フェスタでは、人形浄瑠璃「富田人形」の公演がありました。
長浜市北富田に伝わる富田人形は、百数十年の伝統を誇る人形浄瑠璃です。江戸時代巡業にきた阿波の一座が、路銀代わりに道具全てを置いて帰ったのが始まりといわれます。その伝統は今でも守られ、年2回定期公演があり、近年、外国からの留学生との交流も盛んに行われているそうです。



これから人権部会では多文化共生と平和が大切にされる地域を目指して、このようなフェスタをはじめ、講演会やイベントなどの活動を続けてまいりたいと考えております。

大会議室では、人権フェ、いろんな国の民族衣装の体験、平和すごろくゲーム、戦争のパネルや遺品展がありました。10時、11時、13時、14時の計4回実施された世直歩さんの人権ミニコンサートでは、世直さんの優しい美声に、来場者が聴き入っている姿も見られました。
好天に恵まれた中庭では、人権クイズや似顔絵コーナーがありました。いろんな国の子ども遊びの体験コーナーでは、中国のコマなどで子どもたちも楽しく遊ぶ姿が見られました。

第8回福祉フェスタ

八幡学区社会福祉協議会発足60周年記念事業



コロナ禍で2年間中止となっていた福祉フェスタが、10月22日に八幡コミセンにて実施されました。感染対策のため、午前中のみ短時間での実施となりました。
開会式では、学区社協の活動にご支援をいただいた、大西一幸さん、織田せい子さん、日牟礼八幡宮「宮美会」さん、大野泰男さんに、白井久隆会長より感謝状が贈呈されました。

開会式終了後、引き続き、講演会「たつきゆうさんのユーモアセラピー」の開演となりました。たつきゆうさんは、京都大学出身の大道芸人で、健康長寿の秘訣をユーモアいっぱいに解説してくださるということで、とても人気のある方です。まずは大道芸を披露していただきました。テニスラケットと傘とピコピコハンマーを同時にくると空中でまわす姿には、会場から歓声と拍手が巻き起こりました。その後、高齢化に伴い気を付けていきたいことを分かりやすくお話しいただき、会場は終始笑い声に包まれ楽しい時間を過ごすことが出来ました。



今年度、米寿(88歳)を迎えられる方の写真展「ふくよか写真展」もあり、じっくりと見入っている人の姿も多数見られました。
みまもり市スタッフによる、ロケットストーブで焼いたホッパホカの焼きイモも大人気でした←